

本年度の結果

	算数
阿蘇市	59
全国	63.4

領域別	数と計算	図形	変化と関係	データの活用
阿蘇市	60.0	65.6	47.9	55.4
全国	66.0	66.3	51.7	61.8
観点別	知識・技能	思考・判断・表現		
阿蘇市	69.2	46.8		
全国	72.8	51.4		

本年度の主な結果について

- 数量関係を口を用いた式に表すこと、直方体の見取り図の理解、円グラフの特徴の理解などはできており、中でも図形や変化と関係に改善が見られる。
- 折れ線グラフの特徴とその使い方を理解すること、目的に応じて必要なデータを取り出して分類整理し、表や式に表すなど、データの活用に課題がある。
- 数学的な表現を用いて説明することや複数の条件をもとに解答することには、引き続き課題がある。

成果と課題

学力調査から

【定着している内容】

- 数量の関係を、問題場面通りに口を用いた式に表すことはできている。(1(2))
- 直方体の見取り図について理解し、かくことはできている。(3(1))
- 円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることはできている。(5(1))

【課題】

数と計算

- 問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことに課題がある。(1(1))
- 計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを記述することに課題がある。(2(1))

図形

- 球の直径の長さと同立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことに課題がある。(3(3))

変化と関係

- 道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を記述することに課題がある。(4(3))

データの活用

- 折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを記述することに課題がある。(5(3))

質問紙調査から

【肯定的な回答の割合が高かったもの】

- 「解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える」「算数の問題が解けたときは、別の解き方を考える」は全国を上回っており、学習意欲が見られる。

【課題】

- 「算数の勉強は好き」「算数の授業の内容がよく分かる」「算数の勉強は大切」は、減少傾向にあり、全国と比較しても低い。

課題等に対応した改善指導内容

【授業改善】

- OPDCAサイクルによる課題探究型学習を進め、課題設定一見通し一解決する一まとめ一振り返りの学びを構築する。
- 児童自らが「問い」を見だし、解決方法を自己選択、自己決定するなど見通しを持って課題解決に取り組ませるなど、個別最適な学びの充実を図る。
- 数学的な表現を用いて根拠をもって筋道立てて考える能力を育て、伝え合ったり説明したりする協働的な学びの充実を図る。
- 数学的な見方・考え方を働かせながら数学的に考える資質・能力を育成する。

【日常的な取組】

- 児童主体の授業づくりを目指し、数学的活動を通じた活動や効果的なICTの活用を図る。
- 基礎・基本の習熟を図るため、補充的・発展的に個に応じた指導の充実を図る。

【家庭学習等】

- 授業内容に応じた課題を出し、AIドリルを活用した習熟や予習の充実を図る。